



イノシシに掘り返されたジャガイモ畑(高山地域)

# 防ごう 鳥獣被害

キーワードは  
みんなで学習・守れる田畑  
囲って追って・最後に捕獲

近年、日本各地で野生鳥獣による被害が大きな社会問題になっており、高山市でもその被害は極めて深刻です。平成22年度の被害面積は219ヘクタール(前年比14ヘクタール増)、農作物被害額は8875万円(前年比360万円増)で、被害の多くはイノシシのほか、最近ではニホンジカの被害も増加しています。市では昨年度「鳥獣被害防止計画」を策定し、①鳥獣を寄せ付けない環境整備や鳥獣被害を受けにくい地域づくり②鳥獣の追い払いや被害防止施設の整備③鳥獣の捕獲や狩猟者の育成・強化の3点を重点的に取り組むこととしています。

そこで今号では、鳥獣被害の現状とその対策に向けた取り組みについて紹介します。

## 鳥獣被害の実態

鳥獣被害には、主にイノシシやサル、シカなどが農作物や木の芽を食い荒らす被害、クマによる人身への危害、ゴミを荒らしたり家畜へ危害を加えるカラスの害などがあります。

## 主な原因と新たな課題

鳥獣被害の原因としては、地球温暖化による生息地の拡大と個体数の増加、狩猟者の減少、農家の担い手不足による耕作放棄地の増加などと言われていますが、一方で『人間の餌付け』やそれによる『鳥獣の人馴れ』も原因の一つと言われています。

また、民家近くに野生鳥獣が現れるようになったため、人への危害、自動車や鉄道との接触事故など新たな課題も発生しています。

## 餌は2種類のみ

集落に野生鳥獣のエサとなるものは何種類あるかご存知でしょうか。実は2種類しかありません。一つは、野生鳥獣が食べると人間が

過去3年間の被害状況

年	被害額 (万円)	被害面積 (ha)	内訳(主なもの)(ha)		
			イノシシ	ニホンザル	ニホンジカ
平成20年	8,774	200.8	119.8	3.6	4.7
平成21年	8,514	204.4	124.3	4.1	6.9
平成22年	8,875	218.7	129.2	9.0	17.3

農務課調べ

怒るエサ、つまり収穫前の農作物のことです。もう一つは、野生鳥獣が食べても人間が怒らないエサ、つまり放置野菜や、ぼた草などです。このうち後者のエサを食べさせていることが、餌付けの始まりであり、人馴れを助長していると言えるのです。